

# ドライバー寿命の延伸と安全



## SAS対策について解説した 作本氏

SASとは睡眠時に気道が塞がって呼吸が止まつたり、止まりかけたりする病気で、大きなびきが代表的な症状だ。京・大手町で運送事務がかりやすい症状だが、本人は気付きづらく、見過ごされることが多い。

睡眠時無呼吸症候群（SAS）患者による事故発生率は健常者よりも高い。だが、「治療が適切に行われていれば運転業務は可能」だと、NPO法人ヘルスケアネットワーク副理事長の作本貞子氏は言う。昨年7月、10年ぶりに自動車運送事業者におけるSAS対策マニュアルが改定された。SAS治療継続の有用性をさらに周知していく必要があるからだ。SAS対策で事故防止とドライバー寿命の延伸は可能なのだろうか。

ドライバーもいる」と述べた。

寿命と事故防止

SAS対策マニュアルの解説と運用について講演した作本氏は「SASと特に

る 4項目持つてい  
る人を「死の四重奏」と呼び、死亡する確率が三十数倍に跳ね上がるといわれていいため、ドライバー

たが、実際に検査を  
している事業者は  
バス71%、トラック  
37%、タクシー24%  
にとどまる。

AS検査を計画する。

## 康起因事故の主原因

(二)  
村秀寿

A portrait of a man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a patterned tie. He is standing in front of a light-colored, vertically striped background, possibly a window or a wall. A microphone is visible on the left side of the frame.

「不安解消で健康に」と  
話す木南社長

テラ  
マニ

療中の者から『よく  
寝られるようになつ

で、睡眠時間が少なくて睡眠の質が良

# SAS 対策で守る

になるため、「早期発見・早期治療」が重要となる。作本氏は「SAS」と診断されてもCPAPなど の治療が適切に行われていれば運転業務は可能

SAS対策マニュアルの解説と運用について講演した作本氏は「SAS」と特に関係があるのが高血圧。脳・心臓疾患に起因する突然死や健康起因事故を誘発するその背景にはSASがある。脳も酸欠状態になるので認知症が「うつ病にもつながる」とし、「認知症になると、気が付いていない潜在意識的なハイリスク者の可視化につながる」が、国交省の調査によると、検査の必要性を感じている自動車運送事業者は9割の治療を開始した。4項目持つしていける人を「死の四重奏」と呼び、「死」する確率が三十数倍に跳ね上がるといわれていて、そのため、ドライバーの壽命の延伸と事故防止のためにSAS対策が必要となる。SAS検査を行うことは、本人も意識していない、会社としている。SAS対策を行ったセミナーでSAS対策マニュアルの解説と運用について講演した作本氏は「SAS」と特に関係があるのが高血圧。脳・心臓疾患に起因する突然死や健康起因事故を誘発するその背景にはSASがある。脳も酸欠状態になるので認知症が「うつ病にもつながる」とし、「認知症になると、気が付いていない潜在意識的なハイリスク者の可視化につながる」が、国交省の調査によると、検査の必要性を感じている自動車運送事業者は9割の治療を開始した。

たが、実際に検査をしている事業者はバス71%、トラック37%、タクシー24%にとどまる。

AS検査を計画。土治療だと運転手として仕事を継続できることの可能性があることを伝えながら取り組みをスタートしたという。

同社では、全トナーの運輸ヘルスケアナンバリングシステムにSASのデータも連携することで、ドライバーの状況を統合的に把握。検査でSASと診断され、CPAP(シーパップ)のマウスピースの使用を提案されるドライバーもいたが、「治

A photograph of a man lying in a hospital bed, connected to a ventilator machine. He is wearing a clear plastic ventilator mask over his nose and mouth. The bed has a floral patterned blanket. In the background, a medical monitor is visible on a stand.



CPAPイメージ